VIBE CODER BOOTCAMP　第1回 心構えと、AI の使い方の基本

聞く・できる・渡す。
AI と作る、最初の一歩



自己紹介、この講座のこと、そして持ち帰る 3 つ

講師　泉水 亮介

持ち帰るのは、聞く・できる・渡す、の 3 つ

01

聞く

分からないことは、
分からないまま置かずに、
AI に聞く

こういうとき

- 知らない言葉が出た
- エラーが出た
- 次の一歩が、分からない

02

できる

プログラミングができない
状態から、
AI と一緒ならできる

こういうとき

- 自分には無理だと思った
  作業を、AI に頼んで、
  最後までやり切る

03

渡す

やりたいことと前提を、
情報として渡して頼む

こういうとき

- AI の答えが的外れだった
  思っていたものと
  違うものが出てきた

コンテクスト AI に渡す情報のこと →

聞く　できる　渡す

ほかのエラーも、同じように読める

ターミナル

```
sample_project % cat docs/01_sumary.md
cat: docs/01_sumary.md: No such file or directory
sample_project %
```

No such file or directory

「そのようなファイルやフォルダは、ありません」

→ 名前か場所が違う。作る・置く・名前を直す

command not found

「その命令（コマンド）は見つかりません」

→ 使う道具が、この PC でまだ見つからない

Permission denied

「許可されていません」

→ その操作をする許可が足りない

※ Mac のターミナルの例（説明用）。Windows では言葉が少し違う

聞く　できる　**渡す**

目的・制約・前提・思い・状況の5つを、先回りして渡す

初日の新人が聞き返しそうなことに、先に答えておく



新入社員

新規事業を頼むときの例（※ 説明用）

01	**目的・ゴール**	5 年後に、新しい分野へ踏み出すための 足がかりにしたい
02	**制約条件**	使えるのは 100 万円。3 か月で試せるものに限る
03	**前提知識**	法人向けの営業が強く、個人客との接点はない。 オンラインの新サービスは、集客で詰まった
04	**感情や思い**	お世話になった地域の人たちに、 恩返しできる事業にしたい
05	**具体的な状況**	来月の役員会で、5 枚の資料にして見せる

5 つは決まった型ではなく、渡すものを見つける目安

聞く　できる　渡す

01 トークン化 → 02 ベクトル化 → 03 Attention → 04 次の1語を選ぶ

文章は、切れ端に分けて数える

LIVE　その場で入力

› ハンバーガーとコーラをお願いします　クリックして入力 ・ Enter で確定

ハンバーガー | と | コーラ | を | お願い | し | ます

7 個に区切れた（説明用）

※ ブラウザの単語分割で区切った、説明用の例。AI 本物の区切りとは違う

聞く　できる　渡す

01 トークン化 → 02 ベクトル化 → 03 Attention → 04 次の1語を選ぶ

100回選ばせると、たまに雪も出る

LLM ＝ 予測変換の化け物

今日 の 天気 は ？

RUN 100 / 100

晴れ		37回
曇り		23回
雨		17回
雪		11回
その他		12回

※ 説明用の数字。実際のモデルの値ではない

アイデア出し
味方
いくつも案を出して見比べる

数字や事実
確かめる
必要な情報を渡して

※ 説明用（100 回はイメージ）

聞く　できる　**渡す**

01 トークン化 → 02 ベクトル化 → 03 Attention → 04 次の1語を選ぶ

毎日の会話で自分の手で変えられるのは、渡す文章

TRAINING　学習

学習で決まった部分

使っている間は変わらない

CONTEXT　コンテクスト

渡した文章（コンテクスト）

毎回、変えられる

→ 4 ステップの入口へ

サービスが足す指示
AI が調べた結果

NEXT TOKEN

次の1語

実演で答えが変わったのも、これ

今日の 3 つ：聞く・できる・渡す

01

聞く

分からないことは、
分からないまま置かずに、
AI に聞く

今日、出てきた場面

赤い文字のエラーを
そのまま AI に貼ったら、
次の一歩が返ってきた

02

できる

プログラミングができない
状態から、
AI と一緒ならできる

今日、出てきた場面

お題の一言が、
コードを書かずに、
企画書から広がった

03

渡す

やりたいことと前提を、
情報として渡して頼む

今日、出てきた場面

ひとこと足すと、
確率が動いて、
答えが変わった

次の回は、Web アプリが、どんな仕組みで動いているかを見る